

西上州：妙義山

- ◆日程 2020年11月2日(月)
 ◆メンバー L: OY、MD、OT、TY、SD
 ◆天候 曇り

西上州に位置する妙義山は赤城山、榛名山とともに上毛三山に数えられる山だ。金洞山、白雲山、金鶏山と3つの岩峰群を表妙義、中木川を隔て対峙する岩脈を裏妙義と呼ぶ。

奇岩怪石が林立する妙義山は古来山岳信仰の対象であり、切り立つ岩場だらけのスリリングなルートだ。以前グレートトラバースで田中陽希が鷹戻しと呼ばれる岩稜を登るのを見て自分も登ってみたいと思っていた。去年は悪天で中止になったので念願のリベンジマッチである。

6時にキャンプ場を出発。妙義山 中ノ岳神社駐車場に車を停めていざ出発。第四石門が崩壊して通行禁止のため車道を一本杉まで戻ってそこから登山道に入る。大人場(おにんば)までは長く急な下りで、スタートからこんな下る登山は珍しい。大人場からは急登になり、30分程大汗をかくと東屋のある休憩所に着く。ここから黒滝方面にしばらく行くと堀切(ホッキリ)入口の看板がある。

堀切への上りは急傾斜の岩場が多く、手掛かり足場を探しながら慎重に登って行く。まるで沢の詰めのような上りだ。堀切に着くとここから先は危険地帯、事故多発につき上級者以外登山禁止の看板が多数あり、否が応でも緊張感を高めてくれる。ヘルメットをかぶり登攀用の手袋を着け、私がトップで登り始める。

まずは8mの外傾バンドを鎖を掴んで上がり、次におわん内壁のような15mの鎖トラバースを慎重に進むと鷹戻しの看板が出てくる。ここからが核心だ。数段の鎖と梯子が約60mも続く。部分的には完全にゴボウで登る箇所もあり、集中してガシガシと登って行く。

鷹戻しの最上部に来て後ろを振り返ると絶景が広がっていた。素晴らしい紅葉と高度感で最高の景色だった。感動に浸っている暇はなく、ルンゼ内二段25mの鎖場の下降はほぼ垂直だった。

この先の東岳で記念撮影をして、死亡事故が多いというこぶ岩を慎重に鎖50m下降する。西岳の手前の分岐から石門広場に向かって下って行く。日本一の巨大な大黒天像がある中ノ岳神社で参拝してゴール。運氣・気力が上がるご利益があるとのことなので、受験生の次男に合格祈願の御守りを買って帰る。今回は短縮コースだったので次回は表妙義縦走、裏妙義にも行ってみたいが、この3日間で戸隠・高妻・妙義を登り、温泉・焚火三昧と楽しい楽しい大満足の山行であった。
(記:SD)

CT:中ノ岳神社9:00 - 大人場9:30 - 堀切10:30 - 鷹戻し11:00 - 二段ルンゼ11:40
 - 西岳手前下降分岐13:00 - 中ノ岳神社14:00